2026 夏号

廿日市市 地域支援員だより



写真：新メンバーを加え新体制での集合写真

地域支援員とは

地域の皆さんと、地域おこしの取り組みや地域内外の交流促進、地域の情報発信等を行い、地域の力を強くするため、廿日市市の職員として1年単位(最長3年)で任用されています。今年度は６名の地域支援員が活動中です。この冊子を通して、各地域支援員の取り組みや活動を知っていただけたらと思います。

今号は、4月から着任の2名の地域支援員の自己紹介を見開きでお届けします！

中山間の暮らしを紹介【悠住】HP開設

この度、廿日市市の中山間地域での豊かな暮らしを紹介するホームページ「悠住（ゆうじゅう）」をオープンしました！空き家を単なる「古い建物」としてではなく、そこに流れてきた時間や、これから始まる新しい物語を紡ぐ場所として捉え、私たちが大切にしている「悠々と住まう」という価値観をぎゅっと詰め込んでいます。特集記事では、実際にこの地で家庭菜園やDIY、子育てを楽しむ方々のリアルな暮らしを掲載。物件情報だけでなく、移住後のイメージが湧くような「生の声」を届けていきます。「山あいで自分らしく暮らしたい」という方と、大切な家を引き継ぎたい方の架け橋になれるよう活動してまいります。ぜひ一度、ご覧ください！



ホームページ

インスタグラム

定住推進担当　田崎

田植え体験を行いました！

5月17日に、虫所山地区で米作り体験イベントの第１回目を開催しました。市内外から合計１２組４２名もの方に来ていただき、イベントは大盛況となりました！参加者には手作業による田植えを体験してもらいました。子供たちは慣れない泥土の感触を楽しみながら、みんなで協力して苗を植え終えました。

最後に立て看板へ思い思いに絵や名前を書いてもらい、オリジナル看板を作成しました。

稲の生育観察を兼ねて、佐伯地域へ定期的に足を運んでもらい、地域の魅力に触れるきっかけになればと願っています。

次回は7月26日に開催予定で、草取りや農業用ドローンの実演飛行を企画しています。





地域農業活性化担当　乾

岩惣 駐車場にて宮島ロクロ体験会を開催

5月9日（土）、宮島の宿 岩惣 の駐車場スペースにて、イワタ木工主催のけん玉体験イベントと同時開催で、宮島ろくろ体験会を実施しました。体験会には、お子様から大学生、海外からの観光客まで幅広い方々にご参加いただき、ろくろで木を削るものづくりの楽しさを体験していただきました。また、同時開催されたイワタ木工によるけん玉体験イベントも大変盛り上がり、会場は終日賑わいを見せていました。







左　ろくろ体験の様子
右上　イベント会場の様子
右下　ロクロで削った木材

伝統工芸継承担当　下村

ほうれん草やお米を使ったクッキング開催！

4月26日、廿日市の特産品ほうれん草を使ったパンケーキクッキングを開催！小さなお子さんから大人まで８名の参加がありました。ほうれん草農家の野村さんから育て方や美味しい食べ方を教えてもらい、ふわふわパンケーキの試食を行いました♪

5月9日、玖島のお米を使った生米パンのクッキングを開催！16名の参加があり、横川ひさえさんから生米のモチモチパン作りを教えていただきました♪

佐伯高校生企画のイベント開催！

5月17日、探求授業「佐伯クエスト」の一環で【世界に一つだけの写真立てを作ろう】企画を開催！高校生お勧めの懐かしスポットで撮影し、写真立てを可愛く飾りつけしました。玖島小出身者も参加され、思い出話に花が咲きました♪





ぼくの農園・わたしの農園





5月24日、コミュニティ文化部主催、さつまいもの苗植えを開催しました。玖島小学校で行われていた農園にヒントを得て、1グループ1畝のさつまいもを収穫までお世話します♪20名の参加があり、畝作りやマルチかけ、苗植えを行いました。

玖島地区活性化担当　東

佐伯高校魅力化担当　藤井

HELLO!! SAIKI



ふ 普段は何でも屋
けん玉パフォーマー・下宿・遊び場の運営・ブライダル・庭仕事・農業なんでもします！

じ 自分を更に成長
今までやったことのない仕事『地域支援員』をすることで自分自身も成長させたい！！

い 今いる環境に感謝
佐伯に移住して7年。この地域にお世話になった分の恩返しをしたい！！

ま まさかの切り口で
今までの地域支援員が作ってくれたモノを引き継ぎながら、面白いことを仕掛けます！！

さ 佐伯高校を盛り上げる
この佐伯にある唯一の高校『佐伯高校』の魅力を地域内外に発信していきます

る 類を見ない支援員へ
これまで培ってきた経験をすべてこの仕事に全力投球していきます！！





佐伯高校はだけじゃない！

佐伯高校は女子硬式野球部やアーチェリー部で有名ですが、魅力はそれだけではありません。教科書のない冒険と題した授業『佐伯クエスト』では、生徒一人ひとりが、自分の興味や関心事をテーマに深堀りをしていく探究の時間があります。その中で、地域課題とも向き合い、さまざまな活動を通して、生徒自身も成長していきます。その他、小規模校だからこその手厚いサポートや地域連携なども魅力です。『顔の見える関係づくり』ができる佐伯高校の今後を追いかけ、発信していきます！！

《今年度、支援員としてやりたい事》
①飾りたくなる学校通信の作成
②高校生とSNSのコラボ発信
③津田商店街に高校生が集う仕組みづくり
④佐伯高校版『未成年の主張』大会

生徒会メンバーとも協力して佐伯高校を盛り上げていきます



学校通信
バックナンバー

佐伯高校HP













商店街活性化担当　吉田

スポーツMC
×
まちづくり

2026年春から、廿日市市の地域支援員として活動をスタートしました！担当するのは、けん玉商店街・本通り商店街・佐方商店街・串戸商店街の4つの商店街。商店街の魅力発信やにぎわい創出、地域活性化をミッションとして頑張ります！
スポーツ現場で培った「人を巻き込む力」「情報を伝える力」を活かしながら商店街に新たな人の流れや交流を生み出し、地域の魅力を発信していきます。

@SHUN_YOSHIDA07



自己紹介

改めて、廿日市に在住の皆さま、こんにちは！
冊子をご覧になっている皆さまは初めましての方が多いと思うので、簡単に自己紹介をさせていただきます。
普段は広島県内を中心に司会業を行なっており、有名なイベントでは広島フラワーフェスティバルで司会を担当した経験もあります。また広島県はスポーツが盛んな地域で『スポーツ王国 広島』としても知られていますよね。
私もご縁があって、日本最高峰のバレーボールリーグ「SVリーグ」の試合会場でスポーツMCとして活動していたり、さまざまなスポーツ会場でMCを務めています。
顔は見たことなくても、声はスポーツ会場で聴いたことがある人がいたら嬉しい限りです！（笑）

吉田峻が挑む、新たなフィールド

なぜ、地域支援員になったのか？

私が司会者を目指した、きっかけからお話します。
私にとって、スポーツ会場や地域のお祭りというのは、「その場所に行くだけでも、笑顔になれる場所」です。
その場に司会者がいることで「もっと人を楽しく、笑顔にできる」ところが司会者の最大の魅力だと気づき「人を笑顔にする場をもっとつくりたい！」と思ったことが司会者を志した原点でした。そんな中「商店街活性化の地域支援員募集」の案内を見つけ、ピンと来ました。商店街も、賑わいのある場所、笑顔が溢れる場所、交流が生まれる場所という意味では、スポーツ会場と同じ。行けば楽しい、「人が集まる場所をつくりたい」という自分の活動の想いが合わさったことから地域支援員に応募しました。

今後の目標や想い

子どもから大人まで、誰でも気軽に立ち寄れて、顔見知りが増えていく。そんな温かい関係性が生まれる場所を地域の皆さんと一緒につくっていきたいと思っています！
これから、よろしくお願いします！